

アイユーゴー 通信 第6号

申し込み及び問い合わせ先: **アイユーゴー '途上国の人と共に' 事務局**

住所: 590-0432 大阪府泉南郡熊取町小垣内1-10-18

TEL/FAX: 0724-52-8340 ・ 090-9167-7053 (新田)

e-mail: aiyugo@rinku.zaq.ne.jp homepage: <http://aiyugo.fc2web.com> (設立:2001/10/15)

編集:事務局(岩見、沖、吉澤、新田(香)) 発行:アイユーゴー

日ごろのご支援への感謝とご報告

みなさまお元気でいらっしゃいますでしょうか。みなさまのご理解とご協力があるからこそアイユーゴーです。タイ、ラオス、ベトナムで事業を継続できるのも、みなさまのおかげだと感謝しています。そして「自分の村のために、そして国のために、できる限りの努力をしている」村でなければ、われわれは協力・支援をするわけにはいかないと考えております。協力・支援する側とされる側とは同じ立場でなければなりません。困ったことを解決するためには、解決する人とされる人がどちらともがんばらなければ、解決できないと思うからです。その解決する力は共通に与えられているのではないかと思います。

[平成16年度事業報告]

平成16年度の事業報告を遅ればせながら、させていただきます。

(1) 教育支援プロジェクト

①小学校屋根建設

(ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区ナチック村)

村人が中心となり屋根の建設を行った。

②小学校への教育資材供与

(ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区フォンソンホン村)

小学校の各教室に机、椅子などを供与し、小学生児童たちの新しい学校生活が始まっていた。

③小学校建設とトイレ建設 <継続事業>

(ベトナム・ラムドン省ラックドング地区ラット村の2集落—ボナーB、パンチエン・ダンジエット)

年度末3月に小学校建設のための工事を開始した。2005(平成17)年度に継続。この事業は、現地に近いダラット大学社会福祉学部と日本からのボランティアとの共同参画、ならびに村人の協力で行われ、2005年9月に終了した。



Bonor B 小学校



Pangtien 小学校

<Bonor B 小学校は(財)大阪コミュニティー財団より助成を受けた。
Pangtien 小学校は(財)ひろしま祈りの石国際教育交流財団より、助成を受けた。>

(1) 農村地域開発プロジェクト

①農業指導のための宿舎施設建設

(タイ・メーホンソン県パンマパー郡ワナルアン村)

宿舎建設は無事終了した。宿泊施設を利用することができるようになり、センターでの講義が活発化してきた。今、有機農業のパイロット的存在として注目を浴びている。



宿舎正面から



センターでの研修を終えて、宿舎の中でつるぐ農民



センター内部にはいろいろな資料が張られている。



<宿舎、センターともに、(財)日本国際協力財団からの助成を受けた>

②タイ北部における少数民族の住民参加型農村開発

(タイ・メーホンソン県パンマパー郡ムアンパン村)

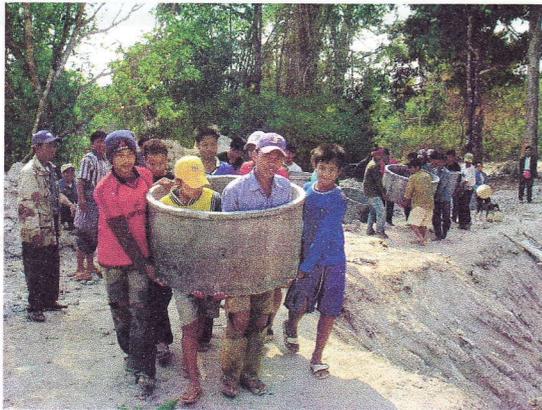
現地から植林時期の順延を伝えてきた。2005年5月から始動し、8月に終了した。



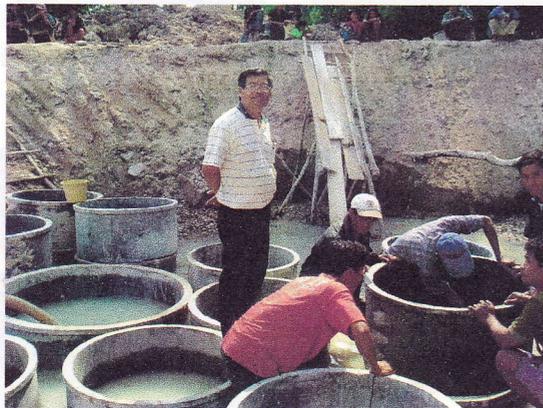
カレン族の子供たちが、マンゴやタムマリンドの苗木を持って、集合し、植林をした。<緑の募金から助成を受けた。>

③井戸建設ならびにパイプライン設置工事によるウォーターシステム設置

(ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区フォンソンホン村)
12基の井戸建設を完成し、ポンプ、配電設備、パイプライン、集積タンクを設置して、家庭までの配水設備を整えた。また、村人が不安視していた水質の簡易検査を行った。結果は飲料水として正常と判明した。



村の若者たちの協力から始まったウォーターシステム工事



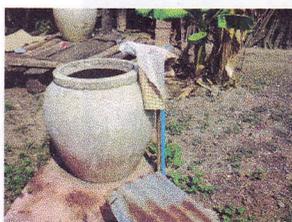
ラオス代表(立っている男性)のカッフア氏が進捗状況の視察



完成した井戸



タンク



タンクから各家庭に配水された。



(2) 日本の国際協力プロジェクトへのアドバイザーとしての参画

①日本青年会議所東広島青年会議所主催の GTS(グローバルトレーニングスクール)における事業(集会所建設・食文化交流)

(ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区フォンソンホン村)

コーディネーターとして参画。参加者40名。



(3) 自主事業(ワークキャンプ)

①タイ・メーホンソン県パンマパー郡ワナルアン村

ワナルアン小学校でシャン族の子供たちに空手、英会話を指導しつつ、交流を深めた。<8名参加>



②ラオス・サバナケート県サイフォウホン地区フォンソンホン村

井戸建設とパイプライン設置工事によるウォーターシステム設置に技術協力を申し出た専門家によるワークキャンプが行われた。また、井戸水の水質の簡易検査を行った。特に異常は見られなかった。<3名参加>



左から:中西工業所の原氏、柴田氏、中西同社長(本会副代表)井の水の簡易検査を行う。



村長宅での工事の打ち合わせ。左から:新田代表、現地専門家、通訳、中西副代表。

③ベトナム・ラムドン省ラックドン地区ラット村

小学校建設の支援を行うワークキャンプ。ダラット大学

の学生たちと建設予定の場所の整地を行った。残念だったことは、予定されていたホームステイが直前に現地の都合で中止になり、ホテルでの宿泊となった。しかし、現地の大学生たちは懸命に参加者と交流を深めて行った。
 <6名参加>



村人の家での食事交流

(4) 貧困と麻薬文化撲滅のための提言プロジェクト

①職業訓練所センター建設(ベトナム・ブンタオ省)

事業規模などを現地と再検討の結果、規模が大きすぎるということで中止した。

[平成16年度収支決算報告]

科 目	決 算
1. 会費収入	542, 770
2. 寄付金収入	2, 489, 204
3. 助成金収入	4, 350, 000
4. 自主事業収入	572, 614
5. 雑収入	36
6. 繰越金	208, 464
7. 借入金	600, 000
収入合計	8, 763, 088

科 目	決 算
1. 事業費	7, 148, 566
2. 管理費	598, 634
支出合計	7, 747, 200

収入合計(A)	8, 763, 088
支出合計(B)	7, 747, 200
残高(A-B)	1, 015, 888

特に、収入の部における会費収入の予算(900,000円)と決算(542,770円)との関係における達成率は、60%でありました。90%を目指し、みなさまの協力に基づく活動を推進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

[平成17年度事業計画]

今年度は、3カ国で次のような活動を進めています。

タイ

麻薬文化撲滅の代替事業として開発情報センター(農業セ

ンター)を中心にして、各村でタムマリンド、マンゴの植林、コーヒー栽培が万単位で始まっています。麻薬より農業、林業。そして、環境を守る生き方を、さらに浸透させていきたいと思っております。

ラオス

中南部のサバナケート県内で5カ年計画の農村開発のプロジェクトを進めていこうとしているところです。

ベトナム

ダラット大学との共同プロジェクトで少数民族の支援を行います。少数民族の子供たちが大学に行くことができるのはごくまれです。

(1) 教育支援プロジェクト

少数民族の居住地での小学校の建設とトイレ建設(ベトナム・ラムドン省ラックドン地区ラット村の2集落—ポナーB, パンチエン・ダンジェット)

日本からの支援ボランティアによる土地整備の協力から始まった事業は、村人とダラット大学の学生と協力のもとで完成した。また、計12名が牛銀行のメンバーになった。(2005年9月に終了)

(2) 農業地域開発プロジェクト

①タイ北部における少数民族の住民参加型農村開発

(タイ・メホンソン県バンマパー郡ムアンパン村)

山岳地帯に居住する少数民族自らが参加して有機農法を取り入れ、経済的自立と環境保全を図る。

②タイ北部における開発支援センターへの人材派遣

(タイ・メホンソン県バンマパー郡)

開発支援センターにおける農業専門家による人的・技術的支援を行う。

③タイ北部における少数民族の住民参加型農村開発

(タイ・メホンソン県パムー地区タンボン郡クンパトウング村)

強制移住させられた少数民族有畜農業指導による住民参加型農村開発を行う。

④ラオス中南部における農業開発支援センターの建設

(ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区)

有畜農業、土木建築、洋裁などの指導を行うためのセンター建設、また、並行して農業開発支援事業としての貯水池補修工事、植林などを行う。

(3) 日本の国際協力事業へのアドバイザーとしての参画

(社)日本青年会議所島根ブロックの国際貢献事業

(ラオス・サバナケート県サイフォウホン地区フォンソンホン村)

小学校トイレ建設と交流のコーディネーターとして参画。

(4) 保健衛生に関する事前調査

少数民族の貧困と保健衛生に関連する調査。

(5) 自主事業(ワークキャンプ)

本会での事業現場で、村人と文化・技術の交換を通じた交流を行う。

①橋建設完了に伴う農地開拓の協力と交流

(ラオス・ビエンチャン県バンマイポーシー村)

②農作業を通じて環境保全を考える教育問題に焦点を当てた交流。

(タイ・メホン県バンマパー郡)

③開発支援センター建設協力と職業専門家との交流。

(ラオス・サバナケート県サイフォウホン地区)

④ダラット大学学生と少数民族の自立支援のためのジョイントワークキャンプ。

(ベトナム・ラムドン県ラット地区)

アイユーゴー会計担当

吉澤 七重さん



以前、勤めていた大学職員時、先生である新田さんと話す機会があり、アイユーゴーの話をお聞きしその活動に興味を持ちました。以前からボランティアに何らかの形で参加したいと思っており、献血で100回近く行いました。

アイユーゴー会員には3年前から入り、昨年職員を退職後に私にも何か出来る事があるのではないかと思います。よろしくお願いします。

お知らせ

未来へ架けよう！心の橋

地域活動として、コンサートや講演会を企画しています。

皆様のご協力及びご来場をお待ちします。

- ・ 日時 : 2006年 3月 5日(日) 14:00~
- ・ 場所 : 熊取町煉瓦館 コットン ホール
- ・ 内容 : コンサート及びアイユーゴー活動講演会 など

準備委員を募集しております。ご連絡をお待ちします。事務局までご連絡をお願いします。

事務所だより

アイユーゴー事務局運営、地域でのアイユーゴー活動を支えています。

メンバーの沖さん、吉澤さんよりメッセージをいただきましたのでご紹介します。

<アイユーゴーに参加して>

本部地区企画委員長

沖 嘉子さん



最初に、ボランティア活動に関わりを持ったのは、小学生の頃に入ったガールスカウトでした。その頃から人との出会いがすごく楽しく思われ、共に共有して物作りをする事が好きな子どもでした。それから今日50歳を過ぎてても変わる事無く、お隣りの新田さんのアイユーゴーのお手伝いをする事になり、少しでも役に立つ事ができればと思っています。

<アイユーゴーでは、高校生、大学生もお手伝いに来ています。>



大学生の間城徹也君



高校生の秋山のり子さん、川崎一輝君

——事務局体制づくりに取り組んでいます！——

本会は、麻薬文化撲滅のための代替プロジェクトと少数民族の人たちへの協力・支援活動をメインにしています。設立から5年目に入りました。設立から3年間は現地担当者がしっかりと活動意識を自分のミッションとして捉えることが出来るかが大切な課題でした。次の4年目からは事務局体制を確立し、ご理解、ご協力して下さる皆様とどのようにして、活動を展開することがもっともよいことなのかを考えながら進んでいます。

みなさまのアイデア、専門知識や技術、事務作業、パソコン技術など、何でも大歓迎です。遠くからでも、近くからでも自分に出来ることをしてみませんか？

- 編集後記 -

会員の方々へのアイユーゴー活動情報源として、通信を発行しております。会員の方で行われている活動や情報などありましたらご連絡をお願いします。

アイユーゴー会員の方々の方々の地域活動の充実を目指すために、会員の方々のお住まいの地区別に分けたので、後日、お知らせします。

- ボランティア 募集 -

現地でこんなことが出来る、あるいは自分のこのような資格を持っている、自分のこのような技術を生かしたいということがありましたら、是非、ご一報ください。もしくは略歴書を送付してください。